



一人ひとりが一人の人間として大切にされる社会を目指します

あなたのチカラを必要としています

## 大崎市女性人材リスト 登録者募集

大崎市では、男女共同参画推進の一環として、より多くの女性が、政策・方針決定の場に参画できる機会をつくるため、「女性人材リスト」の登録制度を設けました。

女性のみなさんにご希望する活動分野を登録していただき、市の審議会委員の候補者を選ぶときや、研修会、講座の講師をさがすときなど、男女共同参画推進室から市役所内の担当課にご紹介する情報として活用します。

市政に関心を持ち、ご自身の知識や経験などを発揮したいとお考えの女性のみなさん、登録をお待ちしています。

**応募対象者** 以下のすべての条件に当てはまる方

- ・ 18歳以上の女性の方（高校生を除く）
- ・ 市内に在住または勤務もしくは通学している方
- ・ 市政に関心があり、ご自身の経験・知識などを発揮したいとお考えの方

※女性人材リストは、候補者としての登録になります。実際に委員や講師をお願いする際は、市からご本人のご都合を確認いたします。

## 夢を咲かせる第一歩！「大崎塾」受講生募集

地域で活躍する女性リーダーを養成するために、毎年開催している「大崎塾」。笑顔になれるコミュニケーション方法や、夢に向かって進んでいくための情報や手段を学べます。

**日時** 平成29年7月5日～9月6日 午後7時～9時

(隔週の水曜日 全5回)

**場所** 大崎市役所 北会議室 **受講料** 無料

**定員** 30人（市内に在住または勤務する女性。先着順）

**講師** 阿部侑生さん（コーチング研修会社ドリームフィールド）

（いずれも、お問い合わせは男女共同参画推進室へ（裏面）

## リレー コラム

## アートの地域に貢献

～アートは、男も、女も、年齢も関係ないんです～

私が絵を描き始めたきっかけは、大学の授業中に何気なく描いた落書きを友達に評価されたから。就職後は趣味として絵を描き続け、Design Festa やギャラリーのイベントにも多数参加しました。2014年には大崎市出身・在住のメンバーと ART LAB@Osaki を立ち上げ、代表として展示会の主催やイベントへの参加をしています。ART LAB を立ち上げた目的は、アートで地域は変わる・面白くなると思ったからです。また、個人が目立つのではなく、団体としてメンバーにも自分たちが地域を面白くしてるっていうことを感じて欲しかったから。2015年5月に大崎市へUターンした後は、さまざまなお出かけながら制作活動を行い、個人のスキルを上げるとともに、さらにアートで地域貢献すべく、奮闘しています。

アートで評価されるのは作品であり、人の評価はあと。むしろ人は評価されなくてもいいのかな…。実際、大きい展示イベントに参加する際、私は無名なわけで、足を止めてくれる人は、作品に興味がある or 作品が好きの人がほとんどです。逆に私がいいなと思った作品が、小学生の作品だったなんてこともありました。つまり、作品や作品に表れている個性が大切で、作者が男だとか女だとか何歳かなんてアートには関係ないんです。

アートラボ  
ART LAB@Osaki 代表 本宮 孝太郎さん（P太郎）





地域で輝く女性たちを紹介します

株式会社コンフォート代表取締役

渡 辺 由 美 さ ん

「女性のチカラを活かす企業」宮城県ゴールド認証企業

(介護サービス事業所 ケアプラン コンシェルジュ, ケアコンシェルジュ)



2017~2018 宮城県認証企業

「働く時間を自分で決められる会社をつくりたい」と、平成 24 年 11 月、介護サービスの事業所を起業したのは、看護師や主任介護支援専門員の資格を持つ渡辺由美さんです。働きやすい職場づくりや仕事と家庭の両立支援に取り組み、平成 27 年 5 月に「女性のチカラを活かす企業」として宮城県の認証を受け、平成 27 年度には子育て支援部門の優秀賞に輝いています。

「会社勤めをしていたころは、子どもの学校行事があっても仕事が休めず、我慢をすることがありましたね」と振り返ります。起業時の思いどおり、「短時間勤務」「託児所との連携」など、スタッフの働きやすさに心を

配っています。「女性も男性も働きやすい職場を作っていけば、生き生きと楽しく仕事ができますし、そうして働く姿をお見せできれば、業界全体のイメージアップにもつながると思うんです。小さい事業所だからこそできることがあると思います」

渡辺さんの事業所では、部分的に IT を利用した在宅勤務も可能にしているそうで、「仕事の成果は変えずに、働く時間と家庭の時間を自分で工夫する『働くママのマイルール』をモットーに、スタッフを支援していきたいです。将来、介護の仕事が、小中学生がなりたい職業に選ばれるようになればいいなと思っています。日々挑戦ですね」と、にこやかに語ってくれました。



優秀賞のトロフィーを手に。スタッフと渡辺さん(中央)

## 大崎市の女性消防団員が、消防操法大会に出場します！

～地域に女性の力を～

「集合線に集まれっ!」、 「ヨシッ!」というきびきびした掛け声が、訓練会場に響きます。小型の消防用機械器具(軽可搬ポンプ)を前に、ホースの接続からエンジン起動、そして放水と、一連の動作が確実・迅速にできるよう訓練を重ねているのは、大崎市消防団の女性消防団員たち。9月の全国女性消防操法大会に出場するため、市内の各地から週に2回集まり、ともに汗を流しています。

「訓練は厳しいと感じたことはありません。逆に楽しいのは、動作が最後までピシッと決まったときです」と、団員の一人。とはいえ、規律性が求められる動作には、さらに改善できるところがあるようで、先輩女性団員から後輩に対し「考えるより自分の体で感じた方がいい」と、反復練習や実践経験を積むことの大切さが伝えられる場面もありました。



地域の力になります！



「操作、始め」(軽可搬ポンプの操法)

女性団員が初めて大崎市に誕生したのは、平成 19 年のこと。「当時は、珍しがられて恥ずかしいと感じることもありました。体力面では男性にかないませんが、女性だからこそできる活動もしていきたいです」と彼女は語ります。

平成 29 年 5 月 1 日現在、大崎市消防団員 2,371 人中、女性は 9 人になりました。彼女たちは大会後もそれぞれが住む地域で活動をします。災害現場や予防活動に女性の視点が入り、地域に新しい防災力が生まれることが期待されます。

おおさき男女共同参画推進ニュース『With』では、**みなさんのご意見・感想・情報**をお待ちしております。

大崎市市民協働推進部まちづくり推進課 男女共同参画推進室

電話 23-2103 男女共同参画推進室専用電話(以前の番号も使えます。23-5069)

Fax : 23-2427 E-mail : machi@city.osaki.miyagi.jp